(六日夕刊)

磐城新聞

休刊 大祭日第三日曜
定價 壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵税十錢
廣告料 雜報欄行五十錢(場所指定二十錢增)
發行兼編輯印刷人 遠沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社 電話五六四番

婦人參政の可否

城山 水野あをい

婦人參政權の問題は既に氣し、十論議せられたもので早晩我邦に於ても是認せらるべきであることは今日に於て最早贅辭を要せぬであらうと思はるるに拘らず、今回婦人に參政權を與へることは、婦人をして天職の責務を放擲せしめる事であり、家庭の破壊であり、男子の不幸であり、延いては國家の方にまでも影響を及ぼすことになると云つて反對をする者があるのは聊か驚かざるを得ぬところだが、これは甚しく婦人政治と云ふ關係に付て誤解してゐる爲めであると思ふ

誤つた解釋

反對論者の言ふが如く、成る程婦人が婦人自身の本務であるところの家庭の仕事を捨てゝ顧みずに、謂ふ所の政治運動に參加して或は演説會に或は選擧運動に東奔西走して、男子と同樣に日亦足らざるほどに熱中したならばそれは婦人それ自身の破壊でもあらうし、又家庭の破壊でもあらうそしてそれが延いて男子の大なる不幸でもあることは言ふまでもない、然しそれは政治運動である、政治ではない、婦人に參政權を與へるといふことを婦人に政治運動をさせることであると解釋する爲めに、斯うした弊害が擧げられることになるのである

今日までに、婦人で選擧運動に參加して家庭の仕事は其方退けに狂奔した者があつたので、これを見て若し婦人參政權を認めるやうにでもなつたら、それこそ女といふ女が悉く選擧運動なぞに夢中になり、あらゆる家庭が悉く破壊されることになるだらうとの杞憂を抱くに至つた爲め、そこに反對説が起つたのであらうと思はれるが、今まで選擧運動なぞに參加した婦人もあることは、それは婦人中に一異例を示す者に過ぎないのであつて、眞に自分の幸福を希望する婦人、又は敎養ある婦人、高等敎育を受けてゐる婦人なぞの中に一人でも今日までそうした事に關與した婦人のないことを以て見てもそれは唯婦人中の一異例であるに過ぎぬことが判るであらう、即ちさうした一異例を標準として全般を推斷することは間違つてゐるのである

男子の專横

政治は政治運動ではない婦人の參政權を認めると云ふことは婦人を驅つて政治運動の渦中に投せしめると云ふことではない、婦人參政權を是認すると云ふことはそれは婦人をして選擧權を行使せしめることなのである

選擧權の行使、それは萬人同一でなければならぬそれでなければ萬機公論に決するのではないことになるのである。であればこそ普選も是認せられて、愈その實施期に入つたのである、然るにその萬人普遍でなければならぬ筈の選擧の行使が、獨り男子のみの占有であつて、婦人には全く關與も許さぬと云ふが如き、そんな理由が何處に發見し得られるであらう

若し婦人に選擧權を與へることが、婦人をして選擧運動の渦中に投せしめることであり、家庭の破壊であるとするならば、男子に選擧權を與へることも男子をして政治運動屋たらしめるものであり又その職業を放擲せしめることでなければならぬ、だが例令普選が實施されたからと云つて、例令總ての男子が政治的に目覺めたからと云つて、男子の大多數が政治運動屋となる筈もなければ、又その職業や責務を放擲する筈もないではないか、然らば婦人にでも勿論同樣であるべきである、然るに男子にだけ選擧權を認めて婦人に之れを認めぬといふのは一体何うした間違ひなのであらうか

それは間違ひでも何でもない、畢竟男子の專横に依るだけの事である。

明吉の凶日
舊暦十一月十四日
新暦十二月七日

▲一白 廻り來れる幸運逸せざる樣に努力あるべし▲二黒 蹉跌を生じ易き故成るべく内を守るべし▲三碧 迷雲眼前に横たはりて行く手の定まらざる日▲四緑 氣心に落付きを生じ來る日急がば廻るべし▲五黄 行き違ひの生じ易き日何事も手控するが安全▲六白 そら位置に安んじ日課を怠らぬ樣にすべし▲七赤 小を得て大を先び易し進むより守るが無事▲八白 知つた振りより不慣れの事を持ち込まれ難儀する日▲九紫 張合よく事業の進み行く日 但し飲食注意

講談 血で血を洗ふ (205)

高橋掬太郎創作
布施平八郎揮毫

お照の方の怒り

川越軍治が松並木で怪人のために討たれたと聞いて昌康は大いに驚き且怒つた

併し對手が神出鬼沒の怪人なのでどうする事も出來なかつた。

お照の方は嘆き悲んだ

「殿樣、憎つくい奴は怪人でござりまする、往來の武士を斬つて捨てるばかりか奉行たる兄の邸へ押し入つて狼籍を働き兄を討ち取るといふは殿樣の御威光に恐れぬ曲者ではござりませぬか何卒草の根を分けても探し出し兄の仇を報じて給はるやうに願ひ申しまする」

と昌康の膝にすがつて泣き崩れた

「いかにも其の方の悲しみは當然の事ぢや、餘も何とか致して怪人を討ち取り度く思ふのであるが何處より現はれて何處へ姿を晦ますものか相判らず又何者であるか知れぬので討ち取ることが出來ぬのぢや」

と昌康は慰め顔に云つた

「でも御領内のことは何事も殿樣のお心の儘ではござりませぬか、いくら神出鬼沒の怪人と申しても人間でござりまする上にあぐり天にかける筈はござりませぬ

又、數多い御家臣があり乍ら僅か一人か二人の怪人を討てぬといふはあんまり情けないではござりませぬか

お照の方は口惜しげに齒を喰ひしばり美しい眉を短刀の樣に逆立てゝ掻き口説いた。

昌康は當惑した

「それは余も情なく思ふてゐるのぢや、これほど多くの家臣があり乍らたつた一人か二人の怪人を討てぬといふのは他領への聞ゑも恥かしい(併し家中隨一と知られた神部淸左工門さへ討たれてしまつたのであるから此の上は怪人の對手になるほどの勇士がないのぢや城下の入口や町の辻々に立札して浪人者の豪傑を募つても矢張り怪人に敵はず焦れば焦るほど家臣を失ふばかゝちや口惜しいであらうが暫く待つてゐてくれ」

昌康は嚙んで含めるやうに云つて機嫌を取つた

「厭でございます、待てと仰せられても何時まで待つて討ち取る見込みがあるのでござりまする?」

お照の方は駄々つ子のように肩をゆすぶつてすねてやまなかつた

「さあ何時になつたら討てると云はれても困ることであるが………」

と昌康も弱り果てた

「御領内を荒す一人や二人に惱まされてそれを討てぬようでは何といふ意久地のないことでござりませう、殿樣の御威光も何もありませぬ、田の中の案山子のようなものでござゐまする」

お照の方は無遠慮に昌康の惡口まで云ひ出した

「これ、何を云ふ余を案山子にたとへるとは何事ぢや、ちと言葉を愼め」

流石に昌康は叱つた

「でもそうではござりませぬか、毎夜のように大切な家臣が討たれ乍らその敵も討つておやりにならぬような殿樣なら案山子も同じ事ではござりませぬか」

お照の方は負げなかつた

「もうよい」

昌康は苦り切つた、

「ようございます。殿樣がお討ち下さいませぬなら妾が討ちまする、女でこそあれ思ふ念力は必ず通して兄の怨を果して目にかけまする」

お照の方は狂氣のようになつて起ち上つた

「これ何處へ行く」

昌康は驚いて裙を抑へてとめた

「何處でもようございます るこんな頼みにならぬ殿樣のお側には居たくはありませぬ」

お照の方は振り切つて行かうとした

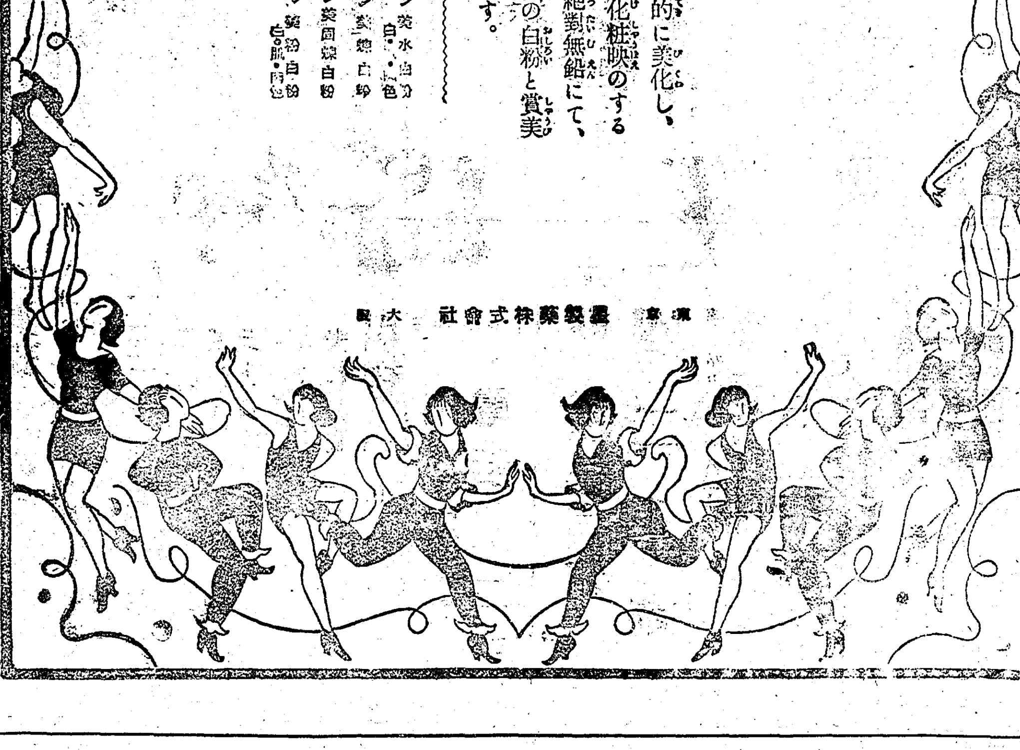
「これ靜に致せ何と思つてる女の細腕でどうなるものか」昌康は制した

鼻のクスリ チクノール錠
痔の最高内服薬 ダイサン錠
平町五丁目角 山野邊薬局

磐城病院
平町田町通り 電話一一四番

七五三ノ御祝着
可愛イ御子樣ノ品々
子供 オーバー ラシヤ洋服 ヒールマント ラシヤマント トウサギノ毛エリマキ 毛ジバン オヂヨンコ 各種
其ノ他澤山入荷致シマシタ
平町四丁目 ツルヤ商店 電一四〇

ホシ美白粉



最高の白粉
どなたの肌をも自然的に美化し、氣品と艷麗に滿ちた化粧映のするホシ美白粉こそ又、絶對無鉛にて、衛生上よりも、最高の白粉と賞美さるゝものであります。
ホシ美水白粉 白・肉色
ホシ美煉白粉
ホシ美固煉白粉
ホシ美粉白粉 白色肌・肉色
東京 星製薬株式會社 大阪

營業品目 絹糸、絹紡績 綿糸、染糸、組紐 漁網糸、人造絹糸 カタン糸、輸出用加工糸 眞綿、其他糸物一式
東京市日本橋區通油町
株式會社 藤掛商店
糸界の羅針盤糸紐通報御一報次第直送 電話浪花三五二一番 振替東京三二四〇番
小店員募集 十五才以上十七八才迄 五名
小學校卒業程度御希望の方磐城新聞社御出で下さい。委細面談

生花教授
池ノ坊流 生花を懇切叮寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい
平町五丁目(釜屋横町) 須藤まつの

釀造元 清世界 吉
銘酒 各炭鑛御用達
石城小名濱町 清水屋 小野晋平 電話六番

平町紺屋町 吉田眼科醫院

懇切迅速鄭重は 弊店のモットーであります
磐城銀行指定 ケーテー洋服店 材木町 高野幸一

鐵筋コンクリート 鐵骨組立 和洋建築 文化式建築 設計監督
土木、建築、請負業 合資會社 丸三森川組 社長 大森鎮平
東京日本橋南茅場町二〇 電話茅場町66四五二番

小名濱港に集まる物資 一ケ年實に七千萬噸

直接受くる本郡の利益 伊東知事の說明內容

小名濱商港築は民政黨の不合理な反對により、や重大な危路に立ち縣當局と政友派縣議並に本郡町村長會は地元小名濱町と共に踴起運過運動、努めてゐるが昨五日の縣會に於て伊東知事より發表された

同港計劃 に對する說明は大体左の如くである即ち小名濱港は横濱鹽釜の中間に位する良港にして後方地域には所謂磐炭田の無盡藏な礦區を抱擁し最後は廣大なる山林なる山林地帶に隣接し貨物の獨立するするもの增加せり貨物移動狀態を調査するに常磐炭礦の年出炭量は

約二百萬 噸を算し其の主要消費地は、東京、横濱地方で現に東京附近各驛に到着する常磐炭は大正十三年の統計によれば無慮六十四萬噸に達すその他民間農產物、海產物、肥料セメント鋼、鐵、鋼等小名濱港推定勢力圈內の各驛に發着す。數量は三百三十七萬八千餘噸に達す、本港を商港として設備を爲す時は大體七十萬噸の物資が小名濱港に轉用し低廉なる石炭を京濱地方に供給するを得港勢益々進展すべし、こゝに於て修築計劃を樹つるに總工費三百八十八萬圓を要す然るに本港は本年十一月四日[illegible]重要港灣に指定せられ修築費三百八十八萬圓の中より埋立地に對する工費三十二萬圓を除いた

殘額三百 五十六萬圓に對しその二分一に相當する百七十八萬圓は國庫より補助される事に內定し且つまた淺野總一郎氏より百萬圓、地元小名濱より五萬圓、修築費寄附申込みあるを以て縣はこれ等を財源とすれは僅か百五萬圓の負擔にして小名濱修築工事を完成する事を得、故に六ケ年繼續事業として昭和三年度より起工する事に決せり云々」と言ふにあり同港 速かに實現するや否とは本郡地方の直接利益は勿論、本縣としても更に之れを國家的に見る非常に有望必要なもので其の成り行きは重大視されてゐる

優良組合の 磐崎農事實行 八日記念總會

磐崎村下船尾農事實行組合は其の創立が本郡に於ける期古の歷史を有してゐるだけ全く理想的な各種の設備を有し模範組合として郡農會から屢々表彰されたが來る八日は丁度組合設立第百回目の總會開催の記念するため當日午前九時から同村內に盛大な農作品評會を開催する事になつた

農倉に融資して 米價維持對策

此の分では立ち行かぬ 平町地方の農村

平町の經濟界に及ぼす附近炭礦、好況不況は勿論の事によるが農村の懷ろ具合が直接に及ぼす影響亦た甚大であるのに今年は繭價の暴落につき米價の低落は豫想外にある爲め之れが救濟策として政府は過般來米穀買上げによ米價の維持策を爲し相當の實成績を見たが米價は

本年度の 米作增收豫想に伴ひ依然として低落歩調をたどりつゝあり大勢は如何ともし難く而も一般農家に於ては安閑としてその新米を保管し得る能力もなく、徒らに馬鹿〳〵しき安値を以て買崩すより外なく之がため更に米價の低落を助長しつゝあると云ふ情勢に立ち至つてゐるので從來の米穀法運用による米價調節策も殆んどその効果なき有樣に鑑み今回特に全國農業倉庫に對する融資を以て之が米穀維持對策を講ずる計畫で目下之に關する各種の調査を進めてゐるが米價維持に對する斯かる試みは之まで全然行はれなかつた方法である即ち現在全國各地に散在する

農業倉庫 に對し約五千萬圓の低利資金を融通し各農業倉庫の保管米に對する貸付を行つて新米の出廻りを阻止みしめ適當な期間を置いて後之が買出しを爲さしめ現下の米價暴落を喰ひ止めとする方策であるがいよ〳〵右計畫が實施さるゝに於いては現在の米價慘落に對し可成り効果あるべきものとして一般に之が實現を要望してゐる向が少くないと

年賀取扱を前に 各種事務多忙

何れも夥しく增加した 暮末の平郵便局

諒闇明け第一年の新年を迎へる平郵便局では暮入の年賀郵便取扱の準備に忙殺されてゐるが去月中に於ける各種取扱概數は普通郵便引受一八八三八九通で前年同期より二千通の減數を示してゐるがその他は各れも大激增を示した、即ち配達二〇五八九通で一萬五千通の電話市外へ呼出し一五六〇一で二千五百、市內總呼數五〇二、二八〇通話で四萬五千通話等の增加其の他各れも前年同期と大差なく爲替方面は受入一六八六口で三萬九千五百廿七圓で四十四口の四千圓減拂出し一七九口で四萬圓前年から一六口七千三百九五圓の太激增、貯金の受入口數二千口四萬六千一百圓で口數で九七六口一萬六百圓の激增拂出しは一一五一口の四萬三千八百圓で口數で二三八口の減金額が六千圓の增加と言ふ診現象を呈したが此れは大口を拂出して郵便年金に繰入加入する人が激增した結果である

減法に殖ゑた 平局の貯金 總額七十萬圓

平郵便局に於ける本年三月末現在と四月末現在の郵便貯金の預け入れ高を比べて見ると三月は四萬五千七百七十九圓十四錢、四月末は八萬六千八百六十四圓七十三錢で四萬餘圓の增加である、五、六、七、八、九の各月共四萬圓乃至二萬圓の增加を續け十一日末現在の預金總額六十四萬八千七百三十圓十一錢で本年はあと一ケ月を殘してゐるのに近年稀なる好レコードを見せ年末は例年減少の傾向あるに反し本年は增加を示してゐる、之は去る十月中愛國貯金の獎勵をなしたため年末につれ一ケ年平均預け入れの過去を保ち得ることであらうと

植田刑事異動 石城

郡植田警察署橋本刑事は今回須賀川署に榮轉し去る四日多數官民に見送られて出發したが同日新任蛭田刑事が富岡署より着任した

本郡の政友議員より 水產學校設立建議

漁業專門教育の不備は 斯業の不振を致す

磐三郡の漁業は沿岸四十里に達しその沖合には世界三大漁場の一を占むるに拘らず水產に關しての何等教育的施設のないため斯業の微々として振るはざるは遺憾であるとなし山崎吉平、古川傳一、鈴木辰三郎三氏の選出縣議から縣立水產學校の設置方建議案を提出されたがその案文は次の如きものである

建　議

一、縣立水產學校設置に關する建議

（理由）近時產業の進歩に伴ひ科學の應用日に月に進み其進展駸々底止する處を知らざるは國家の爲め寔に慶賀の至りに堪へず縣亦茲に見る所あり中等教育の普及と相俟つて實業教育の振興に腐心せらるゝ其結果產業界の大勢は農業工業方面は進歩の發展著しきも獨り水產業にありては未だ舊習墨守の弊を脫せず發達遲々たるを見る偶然にあらず思ふに本縣沿海は魚族富豊にして將來益有望の漁場多く之が開拓するの道多々ありと雖も一面教育機關を設置し漁民の教化に努むるは蓋し刻下の急務なりと信ず

故に縣に於ては縣下適當の地に縣立水產學校を設置せられん事を右府縣制第四十四條により縣知事に意見書呈出致し度及此段建議候也

蒟蒻病撲滅 成績頗るよし

石城郡農會では飯野村に栽培してゐる蒟蒻試驗畑に關し蒟蒻に最も虞られてゐるフラン病の病害を徹府的に撲滅せんと其豫防法を指導し栽培方を依頼してゐたが其撲滅法としては播種前は二斗式ボルド液又發芽後は二斗五升式ボルド液等を用ふる事が最も有効で該法による本年の成績は頗る良好であつたと

勿來青年講座 石城

郡勿來小學校に於て去る四日縣青年講座を開催し附近町村の男女青年團員多數受講したが講師は中會根縣社會主事、坂田同主事補の二氏であつた

長久保氏轉任 湯本

町出身復興局技師長久保俊夫氏はこの程內務省土木部橋梁課へ轉任した、因に氏は震災後の淸州橋、言問橋設計主任たりし人である

使ひ手がなくて 常磐は石炭の山

納炭卅四萬噸の減 炭礦當局者の談

常磐炭も需要期に入つてから多少の活氣を見せるであらうと期待されてゐたが例年の豫想を裏切り炭價は各礦の協定に依り辛くも維持されてはゐるものゝ堀出された石炭は販路先が減少したのか師走の決算期を前に各山とも貯炭の山を築くの慘狀であるこれに就て某礦界の重鎮は語る

需要に入つても獨り常磐炭のみが斯くの如き慘さを見てゐる最大原因とも云ふべきは即ち今春勞働爭議に引續いて水火の難に遭つた常磐炭礦界の大立場である入山、磐城の兩礦の有煙炭が直に復舊は困難と見て鐵道納入を例年より二十四萬噸を減じたが兩礦の出炭復舊が存外早かりし爲めで勿論財界今日の不振も太なる關係を及ぼしてゐる事は言を俟たないが常磐炭の販路は殆んど一定してゐるので消化し切れない結果此影響が無煙炭に迄波及せるに他ならないと想像する

石炭の鼠賊

平署で取調中

赤井村品川白煉瓦株式會社工場の古賀某及び井口某の兩名が共謀して赤井村の石炭を窃盜した目下爭議中の爭議團員小野繁衞が平署に右兩名を告發した事件につき平署では五日右兩名及同會社源本工場主任洲川愛次の三名を本署に召喚伊藤司法主任係で嚴重取調中であるが右の洲川主任は參考人として取調べたものである

爭議團の幹部を 八人組で袋叩き

ゆうべ爭議本部附近で 關係者取調べ中

湯本町品川白煉瓦會社の爭議事件は勃發後既に二ケ月餘を經て未だ解決の曙光も認められなかつたが長期に亘る爭議のため軍用金の欠乏等から漸次爭議團側の足並が亂れ一方會社側は依然强硬な態度を持して爭議對策に努めてゐる折柄昨五日午後八時頃會社側應援の職工小野常吉（五三）山村藤吉（三二）外六名が爭議團切崩しのため爭議本部附近に出動中爭議團幹部日本坑夫組合本部から應援中の折笠鐵太郎（三六）と衝突し前記小野外七名は鐵太郎を取り圍み混棒を以つて頭部其の他全身十數ケ所を滅茶〳〵に叩き瀕死の重傷を負せて逃走したが急報に依つて馳付けた平署伊藤高等主任以下警官隊のために逮捕本署に引致目下嚴重な取調を受けてゐる

品川爭議 解決

爭議團廿三名 手當支給解決

湯本町品川白煉瓦株式會社工場の爭議は既報の如く約二ケ月、亘り可成りの波瀾事件を起してゐたが疲れ切つた爭議團側では爭議を繼續する能力を失ひ昨五日午後七時會社側は爭議團員小野繁造外二十三名に退職手當金一封を渡して解雇する事とし全く解決した

自宅に歸つた處を 犯人難なく逮捕

同僚の顏を挽いた男 原因は飲むでの喧嘩

內郷村白水字川平浪花炭礦坑夫遠藤幸太郎（三六）が三日同僚の三神將司（四五）の寢込みを襲ひ大鋸を以つて將司の顏面を引切り昏倒するのを見濟して逃走行方を晦ましてゐた事昨報の如くであるが其の後平署では非常線を張つて犯人の行方を嚴探中昨五日午後八時頃平署の白水駐在小林巡查外數名の警官が張り込んでゐるのを知らず自宅に歸つた幸太郎は有無を言はさずに引捕へられ直ちに本署に引致目下伊藤司法主任の手で嚴重取調を受けてゐるが兇行の原因は目下調查中であるが判明せざるも兇行當日飯塚邸宅でフイゴ祭によばれ飲酒した折將司と些細な事から口論を始み將司から罵倒されたのを遺恨とし此の擧に出でたものであるらしい因みに犯人幸太郎は將司の弟分にあたる義兄弟の仲であると

讀者と記者

入試廢止無用

平二　トヤマ生

◇試驗地獄といふ言葉が流行をなしてゐる、なるほど或る學校に於ては十人に一人位、或はそれ以上の試驗競爭が行はれて居るのであらう。併し決して世間一般に大きなセンセイションを起す程重要な問題ではないのだ。

◇すこし位の試驗勉強がどうしたと言ふのだ。日頃から多少でも心がけて勉強して居るなれば、大切な運動、即ち体育的にどれだけの缺陷が少しばかりの勉強によつて構成されるだらうか。

◇人間と言ふ動物は勝手な屁理窟を自己肯定のためによくこね廻すものだすこしばかりの勉強に堪へきれないで騷ぎ立てたうち廻る奴は試驗の虫にでも喰はれて終へ。

◇試驗廢止を叫ぶ人達よ勞働者を見ろ、汗みどれになつて綿の樣に疲れて家路を急ぐ彼等の手に握らせられるは何だ左手には大きな疲勞と右手には飢た家族まで、養はねばならぬ小さなパンのみではないか

◇さうして、其の疲れとパンとを彼等に握らせる者は誰だ、それこそ、高等諸學府を出た肩書はかりねらくて何者の力も持たない小ブルジョアの玉子である學校出の若者達ではないか

◇人間の欲望には限りがない、早く目覺めよ、而も最近作成せられたる試驗改正案なるものを見ると、中學成績云々……なんて學までであるぢやないか、中學成績を中心として入學試驗を廢止する——何と言ふお目出度いことをきめたのだらう、こんな事なら誰もが十年も二十年も前から考へて居た事だ、今更禿頭の當局者達が寄り集まつて知慧を絞るまでゝもあるまい。

◇中學成績が惡い者はどうするのだ、さうした者の中にも或は騏驎兒の玉子が居ることをよもや當局者は忘れまい、正當な理由で成績不良もある、甲の學校では中白點の値がある者も乙の學校では八十點しか與へられないこともある。

◇それこそ、本當の試驗地獄だ、不公平極まりなき制度だ、此の世が始まつて以來試驗ならざるものはない、最後——人の力を決すべき最後の手段は試驗だ

◇さうして、普通に勉强して居る者ちよつとの受驗勉強、それがどれだけの惡影響を肉体的に精神的に及ぼすのか

◇入學試驗廢止を叫ぶ人達よ、世を騷がす世迷ひ言は止して下さい、さうして默つて試驗をやらせて下さい、世は泰平に學なく治まるでせうから

眞理の賣出し

（2×9）＝（3×2×3）

肉は三三三眞理で御座る

其肉はよく
其値は安く
此上なしとは
是れ又眞理
夫れに尙ほかけて
割引賣出し

肉は三三三
電話三二一三

電話當號變更通知

四二一八番

鑛山水力用電機機械器具
材料一式ラヂオ組立修繕
部分品販賣

日東商會

深キ經驗ト
正シキ學理ヲ基トシテ
最新ノ設備ト
優秀ナル技巧ニ依リ
多產廉賣
益々聲價漲ル
萬年瓦
仙臺高等工業學校試驗証明
鐵道省
福島縣廳
栃木縣廳
青森縣廳
指定品
福島縣四倉町
萬年瓦工業株式會社
電話三八番

良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店
和洋銅鐵金物問屋 (久) 釜屋商店
諸橋久太郎
電話九番・一三九番
振替貯口金座東京一〇九五六番
確實敏捷は(久)の生命なり